

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2																														
授業科目/(英語名)	人間と文化 (東西科学文化交流史) / Humanity and Culture (Intellectual Cross History of science and culture between West and East)																																
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室																															
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目																																
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 姫野 順一 /Eメールアドレス:himeno@nagasaki-u.ac.jp /研究室:姫野研究室 環境科学部 3階 /オフィスアワー:月曜日 10:30 - 12:00																																	
担当教員(オムニバス科目等)	若木太一、勝俣 隆、川口敦子、柴多一雄、戸田 清、佐久間正、相川忠臣、松田雅子、連清吉、中西弘樹、吉田雅章、増田 研																																
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:この講義は第一に東洋と西洋における科学と文化の「知的交流の歴史」(Cross Intellectual History)を理解することをねらっています。第二にこの講義を通じて科学と文化の知的交流の歴史を理解することで、長崎の文化的な創造力や異文化交流における態度・倫理の形成をねらっています。第三に選択テーマによる最終レポートを課すことで自主性と思考力、判断力と表現力を身につけることをねらっています。 授業方法:オムニバス方式を採用し、さまざまな領域の研究者による異なった視点からの授業を実施します。 授業到達目標:本講義はグローバル化時代における「科学の移転」と「多様な文化の交流」の意義を理解し、これを表現できる能力の養成を最終目標にしています。																																	
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): この科目では、東洋と西洋の科学と文化の交流史について総合的に学習します。長崎は地理的・地域的・歴史的特性により古くから大陸や東南アジア・南アジアさらにはヨーロッパと深い交流の歴史をもっています。この科目では第1に、このような長崎を起点とする中国、アジア、ポルトガル、オランダといった海外との交流ネットワークの歴史を学習します。第2に、西洋からもたらされた天文学・暦学・医学・工学・砲術・航海術・本草学といった「科学」の導入と交流について学習します。第3に、文字・辞書・文学・思想・宗教・習慣といった「文化」の導入と交流について理解を深めます。第3に、文字・辞書・文学・思想・宗教・習慣といった「文化」の導入と交流について理解を深めます。																																	
<table border="0"> <tr> <td>第1回 Face to West and Face to East (10月2日)</td> <td>姫野順一(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月9日)</td> <td>姫野順一</td> </tr> <tr> <td>第3回 唐館・出島の情報システム(10月16日)</td> <td>若木太一(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第4回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(10月23日)</td> <td>勝俣 隆(教育学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第5回 ローマ字と活版印刷の伝来(11月日)</td> <td>川口敦子(教育学部 助教授)</td> </tr> <tr> <td>第6回 近世における情報の伝達(11月6日)</td> <td>柴多一雄(経済学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第7回 西洋科学の伝来(11月13日)</td> <td>戸田 清(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第8回 日本思想史における南蛮学・蘭学・洋学(11月20日)</td> <td>佐久間正(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第9回 海軍伝習と組織的な科学の導入(11月27日)</td> <td>相川忠臣(医学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第10回 辞書の伝播(12月4日)</td> <td>松田雅子(環境科学部 助教授)</td> </tr> <tr> <td>第11回 長崎の近代的ルネッサンス(12月11日)</td> <td>連 清吉(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第12回 本草学から自然科学へ(12月18日)</td> <td>中西弘樹(教育学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第13回 アルファベットの誕生と書物の成立(1月8日)</td> <td>吉田雅章(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第14回 鉄砲伝来と大航海時代(1月15日)</td> <td>増田 研(環境科学部 助教授)</td> </tr> <tr> <td>第15回 まとめ</td> <td>姫野順一</td> </tr> </table>				第1回 Face to West and Face to East (10月2日)	姫野順一(環境科学部 教授)	第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月9日)	姫野順一	第3回 唐館・出島の情報システム(10月16日)	若木太一(環境科学部 教授)	第4回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(10月23日)	勝俣 隆(教育学部 教授)	第5回 ローマ字と活版印刷の伝来(11月日)	川口敦子(教育学部 助教授)	第6回 近世における情報の伝達(11月6日)	柴多一雄(経済学部 教授)	第7回 西洋科学の伝来(11月13日)	戸田 清(環境科学部 教授)	第8回 日本思想史における南蛮学・蘭学・洋学(11月20日)	佐久間正(環境科学部 教授)	第9回 海軍伝習と組織的な科学の導入(11月27日)	相川忠臣(医学部 教授)	第10回 辞書の伝播(12月4日)	松田雅子(環境科学部 助教授)	第11回 長崎の近代的ルネッサンス(12月11日)	連 清吉(環境科学部 教授)	第12回 本草学から自然科学へ(12月18日)	中西弘樹(教育学部 教授)	第13回 アルファベットの誕生と書物の成立(1月8日)	吉田雅章(環境科学部 教授)	第14回 鉄砲伝来と大航海時代(1月15日)	増田 研(環境科学部 助教授)	第15回 まとめ	姫野順一
第1回 Face to West and Face to East (10月2日)	姫野順一(環境科学部 教授)																																
第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月9日)	姫野順一																																
第3回 唐館・出島の情報システム(10月16日)	若木太一(環境科学部 教授)																																
第4回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(10月23日)	勝俣 隆(教育学部 教授)																																
第5回 ローマ字と活版印刷の伝来(11月日)	川口敦子(教育学部 助教授)																																
第6回 近世における情報の伝達(11月6日)	柴多一雄(経済学部 教授)																																
第7回 西洋科学の伝来(11月13日)	戸田 清(環境科学部 教授)																																
第8回 日本思想史における南蛮学・蘭学・洋学(11月20日)	佐久間正(環境科学部 教授)																																
第9回 海軍伝習と組織的な科学の導入(11月27日)	相川忠臣(医学部 教授)																																
第10回 辞書の伝播(12月4日)	松田雅子(環境科学部 助教授)																																
第11回 長崎の近代的ルネッサンス(12月11日)	連 清吉(環境科学部 教授)																																
第12回 本草学から自然科学へ(12月18日)	中西弘樹(教育学部 教授)																																
第13回 アルファベットの誕生と書物の成立(1月8日)	吉田雅章(環境科学部 教授)																																
第14回 鉄砲伝来と大航海時代(1月15日)	増田 研(環境科学部 助教授)																																
第15回 まとめ	姫野順一																																
キーワード																																	
教科書・教材・参考書	テキストや教材は講師から適宜提供されまた指示されます。																																
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況と毎回の小レポート(50%)、全講師の出題したテーマから1テーマ選択する最終レポート(50%)で評価されます。																																
受講要件(履修条件)																																	
本科目の位置づけ/学習・教育目標	他の歴史科目(科学史・日本史・西洋史・東洋史など)との関連で長崎の歴史をオランダやポルトガル、中国や東南アジアとの「科学と文化の知的交流史」を理解させる。/学習・教育目標:長崎で観光客に長崎の知的交流の歴史を語る能力をめざす																																
備考(準備学習等)																																	